第1講　原始の日本列島

# PART 4 中国の歴史書による「倭」

## Chapter 1　小国の分立

目標
倭の小国の分立の様子を知ることができるのはなぜだろう？
倭の小国と中国の王朝の関係について知ろう。

### 1　紀元前1世紀の倭〔日本〕

①『〔1　　　　〕』**地理志**

　**前漢**の正史で，1世紀に後漢の**班固**が紀伝体で編纂した。

②**紀元前1世紀**の倭

　**倭人**は100余りの小国に分立し，定期的に朝鮮半島の〔2　　　　　〕

　（前漢の武帝が紀元前108年に設置した4郡の一つで現在の平壌付近）

　を通じて前漢に朝貢。

　※中国の**皇帝**に遣使し，ある地域の**王**に任命されることを〔3　　　　〕という。

　※その目的は，中国や朝鮮半島の先進的な文物を入手することと，

　　ほかの小国よりも倭国内での地位を高めるため皇帝の後援を求めたことにある。

吉野ヶ里遺跡

## 2 1～２世紀の倭〔日本〕

①『〔4 〕』**東夷伝**

**後漢**の正史で，５世紀に宋の范曄が紀伝体で編纂した。

② **57 年**（１世紀半ば）の倭

建武中元２年，倭の**奴国**の王が後漢の都洛陽に遣使して

光武帝から印綬を授かり冊封される。

※江戸時代（18 世紀後半）に，

**福岡県志賀島**で「**漢委奴国王**」と刻まれた〔5 〕が発見されている。

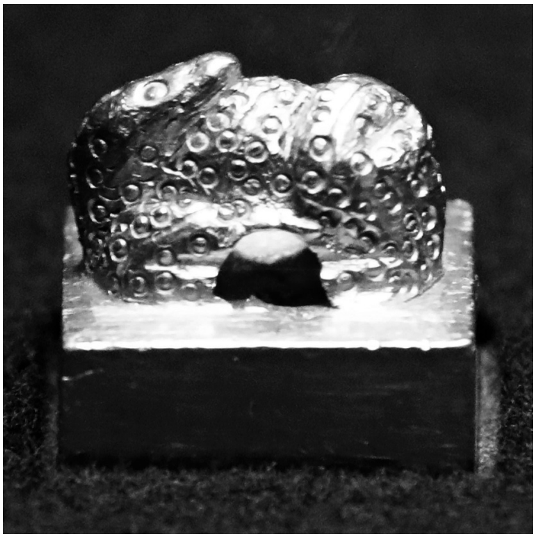
③ 107 年（２世紀初頭）の倭

永初元年，倭国王**帥升**ら，安帝に生口（＝奴隷）160 人を献上し冊封される。

④２世紀後半の倭

桓帝・霊帝の頃，小国の間で争いが激しくなり「**倭国大乱**」状態に。

この時期，近畿や瀬戸内に高地性集落が登場。



金印

まとめ
日本に文字がない時代でも，中国の歴史書を見れば倭の様子はわかる。
倭の小国の王は，中国の皇帝に冊封されていた。

# Chapter 2　3 世紀の東アジアと日本の地域連合国家

目標
3 世紀の東アジア情勢について知ろう。
地域連合国家について知ろう。

## 1　3世紀の中国と朝鮮半島

①　中国の情勢

A　後漢の滅亡（220 年）

B　**三国時代**（220～280 年）→**魏**・呉・蜀

C　西晋が統一（280 年）

②朝鮮半島の情勢

A　北部

あ　**魏**の支配

楽浪郡の南部から**帯方郡**（現在のソウル付近）が分立。

い　［1　　　　　　　］の進出

中国東北部に建国（首都＝丸都）。

B　南部

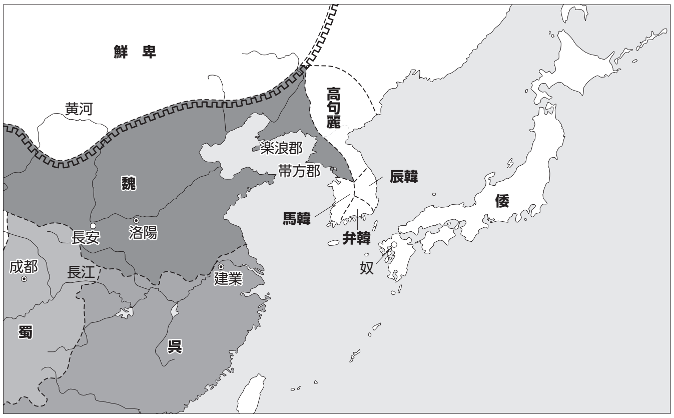
小国の連合である

三韓が並立

※西部の**馬韓**,

南部の**弁韓**,

東部の**辰韓**。




3 世紀の東アジア

## 2　3世紀の倭＝地域連合国家の成立

３世紀に陳寿が編纂した『三国志』の一つである『魏書』東夷伝倭人条

＝［2　　　　　　　］の記述。

①**邪馬台国連合**の成立（３世紀前半）

約 30 の小国からなる地域連合が，**邪馬台国**の**女王**［3　　　　　　］を盟主とあおぐ。

②**邪馬台国論争**

邪馬台国の位置は，**近畿説**〔畿内説〕と**九州説**〔九州北部説〕が江戸時代から対立。

ヤマト政権の成立時期に関わる日本史学会最大の論争だが，

**纒向遺跡（奈良県）**の調査などにより近畿説がリードしている。

③邪馬台国連合の統治

A　シャーマニズム

楼観・城柵を備えた宮の奥深くに住み，

巫女として神の意志を聞く卑弥呼の「鬼道」と呼ばれる呪術による支配。

※弟が政治を補佐。

B　身分制度

王や**大人**と，**下戸**や生口〔奴婢〕。

C　連合内諸国の統治

伊都国に一大率という役人を派遣。

D　市の存在

大倭という役人が監察。

E　租税・刑罰制度もあり

三角縁神獣鏡

④〔4　　　〕との外交（**239 年**）

景初二年（三年の誤り），朝鮮半島の帯方郡を通じ，魏の都洛陽に大夫難升米らを派遣。

明帝から「〔5　　　　　　　〕」の称号と金印紫綬，銅鏡 100 枚を授かり冊封される。

※当時は南方の狗奴国との抗争中だった。

※この銅鏡が各地で大量に発見される**三角縁神獣鏡**ではないかという説もあるが……。

⑤卑弥呼の死による動揺と再建

247 年頃に卑弥呼が亡くなると男王が立つが混乱。

卑弥呼の宗女（＝同族女性）で 13 歳の**壱与〔台与〕**が女王となり安定した。

※いまだ**共立王権制**の段階だった。

⑥３世紀後半～４世紀の倭

266 年の壱与？による西晋の都洛陽への遣使以降，

約 150 年ほど中国の歴史書から倭に関する記載は消える。

まとめ

３世紀，中国は三国時代に突入し，朝鮮半島では三韓が並立した。

共通の王が統治する小国の連合体を地域連合国家という。

# 第１講 PART４ 確認問題

**1** 中国の歴史書の一つである『漢書』地理志を編纂したのはだれか。

① 陳寿　② 班固
③ 韓非　④ 范曄

**2** 紀元前１世紀，倭の使者が定期的に訪れていたのはどこか。

① 楽浪郡　② 玄菟郡
③ 真番郡　④ 帯方郡

**3** 倭の奴国王が光武帝から授かったとされる金印が発見されたのはどこか。

① 福岡・沖ノ島　② 福岡・志賀島
③ 佐賀・吉野ヶ里　④ 壱岐・原の辻

**4** ２世紀後半，倭では小国の間で争いが激しくなり
「倭国大乱」状態になったことが記されている中国の歴史書はどれか。

① 『宋書』倭国伝　② 『魏志』倭人伝
③ 『漢書』地理志　④ 『後漢書』東夷伝

**5** 後漢滅亡後の三国時代の国として**あてはまらないもの**はどれか。

① 蜀　② 魏
③ 西晋　④ 呉

**6** 邪馬台国の所在地について江戸時代から対立している説の組み合わせはどれか。

① 近畿説・関東説　② 近畿説・九州説
③ 中部説・関東説　④ 中部説・九州説

**7** 邪馬台国連合における身分の一つはどれか。

① 下戸　② 一大率
③ 臣　④ 大倭

**8** 卑弥呼が明帝から授かったとされる称号はどれか。

① 日出づる処の天子　② 親魏倭王
③ 漢委奴国王　④ 日本国王

# 第 1 講　PART 4　確認問題 解答

**1** 解答：②

①の陳寿は『三国志』，④の范曄は『**後漢書**』**東夷伝**を編纂した。③の韓非は諸子百家の法家の思想家。

**2** 解答：①

**楽浪郡**は前漢の武帝が紀元前 108 年に設置した 4 郡の一つで，現在の平壌付近にある。

**3** 解答：②

金印は江戸時代（18 世紀後半）に**福岡県志賀島**で発見された。

**4** 解答：④

『**後漢書**』**東夷伝**は後漢の正史で，5 世紀に宋の范曄が紀伝体で編纂した。

**5** 解答：③

**三国時代**（220 ~ 280 年）は，華北の**魏**，江南の呉，四川の蜀の三国が分立した時代をいう。西晋は呉を破って中国を統一した国である。

**6** 解答：②

邪馬台国の位置については，江戸時代から**近畿説**〔畿内説〕と**九州説**〔九州北部説〕が対立しているが，**纏向遺跡**（奈良県）の調査などにより，現在は近畿説がリードしている。

**7** 解答：①

**邪馬台国連合**における身分は，王や**大人**，**下戸**や生口〔奴婢〕からなる。②の一大率と④の大倭は役人のことで，③の臣はヤマト政権における姓の一つ。

**8** 解答：②

①の「日出づる処の天子」は遣隋使を派遣した聖徳太子が自ら名乗ったもの，③の「漢委奴国王」は倭の奴国王が光武帝から授かったとされる金印に彫られている文字,④の「日本国王」は明が足利義満に与えた称号。